長崎県・五島市

一島一校のしま暮らし民泊

国境の離島から日本を考える

「ほんもの体験」が生む民泊先での深いふれあい

長崎県五島列島・福江島を中心に、11の有人島と52の無人島からなる五島市。美しい海と豊かな自然があふれ、四季を通じて釣りや山海の味覚が楽しめます。

古くは遣唐使の寄港地で海外交易の拠点として栄え、またカトリック信仰の地として数多くの教会が点在し、さらに倭寇や空海の伝説が残り、城郭や武家屋敷など歴史文化遺産も豊富です。特に教会は、長崎県や関係市町と連携して、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産登録を目指しています。

600人の受け入れが可能な民泊

五島市では現在、豊かな自然と多様な農林漁業の営み、歴史や文化を生かした体験交流型教育旅行の受け入れを推進しています。「五島感動しま旅!」と銘打った一連のプログラム群でこだわっているのは、「ほんもの体験」であることです。その根幹は、島の暮らしをどっぷりと体験する「民泊」です。市内全域で最大150軒、600人の受け入れが可能で、ありのままの暮らしの中、生徒の皆さんを家族の一員として迎え入れます。

一方「体験」は、民泊先などで受け入れ家族と一緒に過ごす家業体験、島ならではの漁業体験、豊かな自然を存分に楽しむ自然体験など多様なプログラムを用意し、季節や希望に応じたコースをアレンジして実施します。

日本の縮図として「五島感動しま旅!」を

題」についても考えてもらえるような、教育効果を意識した体験プログラム群を展開しています。

五島の魅力としては、①「しま」ならではの自然②豊かな海と漁業・魚食文化③教会と世界遺産・日本遺産—の三つが挙げられます。

ふれあい交流体験

世界遺産登録を目指す旧五輪教会堂

港でのお別れの光景

高校モデルコース

長崎平和学習と五島民泊が定番のコースとなります。民泊1泊の場合は、民泊先での「ふれあい交流（家業）体験」を組み合わせることで深い交流を目指します。民泊2泊の場合は、中日の午前か午後にクラス全体でできる漁業体験などを組み込むことで、生徒の皆さん同士の交流も深められます。離島は、〝日本の縮図〟と呼ばれることがあります。これは離島が、全国的に広がる人口減少社会の最たる地ということを意味します。ありのままの五島と、その先にある日本の課題について考えてもらうよい機会になるのではないでしょうか。

五島市の強みと特徴

民泊と海を主な舞台にした体験、地区ごとに他校の受け入れのない「一島一校」の受け入れポリシー、そしてカラーテープの舞う島ならではのお別れの光景など、五島ならではのオンリー1のおもてなしが強みです。

これらの魅力を生かし、離島ならではの自然体験や、各種の漁業体験（防波堤釣り、船釣り、定置網、刺し網、地引網、すけ漁、灰ダコ捕り・ウニ割りなど）、魚さばき体験などを実施しています。

一方、五島の課題としては、①人口減少と少子高齢化②国境離島としての役割維持③若者の流出による担い手不足—の三つが挙げられます。離島す。

一般社団法人 五島市観光協会
〒853-0015　長崎県五島市東浜町2-3-1
TEL 0959-72-2963　FAX 0959-74-3215
URL http://www.goto-shimatabi.com/

広島湾ベイエリア・周防大島

テープカットが舞う港で受け入れ家庭とお別れ

海・山・人、感動体験

自然と笑顔がいっぱいの島

周防大島は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ、気候温暖で豊かな自然環境に恵まれた人情あふれる町です。周囲には五つの有人島、25の無人島があり、島の山頂からは美しい島々と穏やかな瀬戸内海の景色を望むことができます。

また、みかんの島と言われるほど農業生産のほとんどがみかんで占められています。漁業は沿岸漁業が中心で、鯛の一本釣りやイワシ網漁などが盛んです。

かつてハワイへ官約移民した歴史を背景に、ハワイ州カウアイ島と姉妹島縁組を結んでおり、フラのイベントをはじめ、ヤシの木が立ち並ぶ海水浴場やハワイ関連施設など、ハワイアンムードがあり、280人まで受け入れることができます。本当のやりがいを見つけてほしいと考えています。民泊中の食事は共同調理としていますが、自分たちで釣った魚をさばくなど、調理の過程に自ら関わることにより、たとえ都市部での生活であっても、自然と共に生きていること、命をいただいて生きていることを実感することができます。

実際に民泊を体験した生徒たちからは、「私も自分に正直に生きて、人のためになることをしたい」「人と知り合って交流を深めることは、自分の世界が広がることと同義だと感じた」など、生活を共にすることで心の変化があったとの声が多く寄せられています。

民泊での共同調理

海でカヌーを体験

漂う島です。

民泊体験（ホームステイ）

周防大島町には、10軒の民泊受け入れ家庭があり、280人まで受け入れることができます。農業と漁業を営んでいる「半農半漁」の家が多いのが特徴です。訪れた生徒をお客さまとしておもてなしするのではなく、家族として受け入れ程に自ら関わることによります。農漁業体験や食事作り、たとえ都市部での生活をはじめとする、田舎暮らしの全てを生徒と共有することで生まれる「心と心のふれあい」を大切にしています。

農漁業の楽しさだけでなく、難しさや生活していく上での苦労などを聞きながら、民泊家庭と同じように感じることで、本当のやりがいを見つけてほしいと考えています。民泊中の食事は共同調理としていますが、自分たちで釣った魚をさばくなど、調理の過程に自ら関わることによります。たとえ都市部での生活であっても、自然と共に生きていること、命をいただいて生きていることを実感することができます。

実際に民泊を体験した生徒たちからは、「私も自分に正直に生きて、人のためになることをしたい」「人と知り合って交流を深めることは、自分の世界が広がることと同義だと感じた」など、生活を共にすることで心の変化があったとの声が多く寄せられています。

選択別体験プログラム

民泊だけではなく、約70種類の選択別体験もあり、特にその中でも「カヌー」や「地引網」など人気です。

①カヌー体験（定員40人）

穏やかな瀬戸内海を間近に感じるカヌー体験。湾内で練習した後、約1キロ沖合にある無人島へ漕ぎ出します。目標に向けて漕ぐことで、確かな達成感を得ることができます。救助艇やライフジャケットなど、安全管理態勢にも厳重な配慮をしています。

漁業体験で地引網

武者絵の染色体験

②地引網体験（定員60人）

2グループに分かれ、グループ同士が声を掛け合いながらタイミングを合わせて地引網を引きます。獲れた魚はみんなでさばいて調理します。息が合わないと魚が逃げてしまいますので、チームワークの養成などにつながります。

③武者絵染色体験（定員20人）

周防大島には、大漁旗や武者幟など、さまざまな染物を手掛けている職人がおります。先代から受け継いだ技術と伝統を守るため、今でも手染めによる製作にこだわっています。体験では幟ではなく、タペストリーサイズの下地に絵付けをします。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・檜崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

体験・交流型の修学旅行を提案

広島湾ベイエリア・江田島

家族の大切さや人の温かさを思い出にお別れ

自然豊かな島体験

交流から育む豊かな心の育成

広島県江田島市は、広島港（広島市）から船で約30分の位置にあります。世界遺産の原爆ドームや宮島から近く、特に宮島から船をチャーターすると、約40分で入島することができます。また、江田島市は、橋で本土と接続していますので、陸路で島に入ることも可能です。所要時間は、広島市内から約1時間30分です。

心とココロの交流

民泊体験と家業体験

江田島市では、現在約100軒の受け入れ家庭があり、最大240人の受け入れが可能です。江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく、家族の一員としてお迎えしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食べ、団らんを共にすることで、家族の大切さや人の温かさに触れることができます。

家業体験では、受け入れ家庭ごとにさまざまな体験内容を用意しています。受け入れ家庭の家業や生業である農業、漁業などの営みをそのまま体験し、受け入れ家庭と常に行動を共にすることで、心とココロの交流が深まります。

さらに、江田島市産の野菜や魚介類を調理し食べることを通じて、新鮮で安全な農作物、魚介類などのような作業過程を経てできるかを学び、牡蠣のおいしさ、食の大切さなども実感できます。

オンリーワン体験

江田島市にはオンリーワンが二つあります。一つ目のオンリーワンは牡蠣打ち体験です。江田島市の牡蠣生産量は毎年全国で1、2位を競っており、全国生産量の約16％を占めています。この体験は江田島市でしか味わえない体験です。牡蠣がどのような作業過程を経て、私たちの食卓に届けられているのかを学び、牡蠣打ち体験をします。

もう一つのオンリーワンは、世界三大兵学校の一つである海上自衛隊（旧海軍兵学校）です。米国のアナポリス、英国のダートマスとともに海軍の世界三大兵学校としてその名を馳せました。校内では、高校生と同年代の若き特攻隊員たちの遺書などを通して「平和の大切さ」を理解することができます。

被爆地ヒロシマを語る

原爆投下によって放射能被害を受けた大勢の方々の中に、江田島市在住の被爆者の方々がいらっしゃいます。被爆者の体験や思いをクラスごとの小単位で聞き、対話することで平和学習としての教育効果が期待できます。

島ならではの体験

周囲を海に囲まれている「島」ならではの生活に触れることで、私生活で見失ったものを顧みることができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

皆さまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

牡蠣打ち体験

農家での家業体験

瀬戸内海でシーカヤック体験

広島湾ベイエリア・大崎上島

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験

自然と歴史

人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積約43平方㌔、人口約7900人の離島です。本土とは竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市と短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類のかんきつ栽培をはじめとする農業、水産業など、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

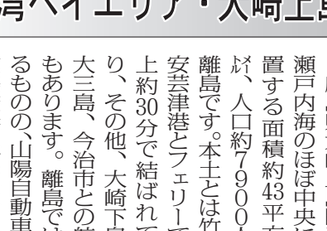
平成23年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。

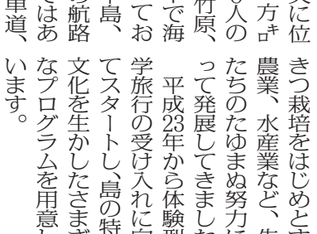
農業や食を学ぶ農業体験

島ならではのフェリーでお別れ

中でも1番のおすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験」です。昔は、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。

また、瀬戸内の穏やかな海を渡って甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類のかんきつやブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験など、島をまるごと体験していただけます。


シーカヤック体験


瀬戸内海で船釣り体験

民泊の登録家庭も160軒を超え、約320人の受け入れが可能で、島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと島体験」から、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育ったかんきつ類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

シーカヤック（体験人数100人）

瀬戸内海の無人島周辺を航海します。また、プランクトンや稚魚が棲む「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場を観察し環境学習をします。

櫂伝馬（体験人数120人）

和船文化を受け継ぐ大崎上島に200年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

【おすすめ体験】

皆さまに安心して来島していただけるよう、安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制で皆さまをお迎えいたしますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・檜崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/